

会報

第124号



公益社団法人
日本海海難防止協会

日本海海難防止協会は、本州日本海沿岸(山口県を除く)及び付近水域における、海上交通の安全に寄与するため、次の事業を行っております。

- (1) 船舶の航行安全及び海難防止に関する事項の調査研究
- (2) 船舶の航行安全に関する教育指導及び情報の提供
- (3) 海難防止に関する事項の周知宣伝
- (4) その他本協会の目的を達成するために必要な事業



アクセス

- 新潟駅(JR 信越線)から
徒歩 約 25 分、タクシー利用 約 10 分、
バス利用 新潟交通 北ふ頭 約 20 分
北ふ頭 停留所下車徒歩約 5 分
- 新潟空港から
タクシー利用 約 20 分、バス利用 北ふ頭 約 20 分
- 車
国道 113 号線竜が島郵便局前交差点を左折直進、
信号を一つ通過後右折し約 50m



目 次

I 事業報告

I-1	調査研究	1
1	秋田港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査	1
1-1	第2回委員会	1
2	由利本荘市沖洋上風力発電事業に係る航行安全対策調査	2
2-1	第1回委員会	3
2-2	視認シミュレーション実験	3
2-3	第2回委員会	3
3	秋田港・能代港洋上風力発電事業に係る航行安全対策	4
3-1	第1回委員会	5
3-2	視認シミュレーション実験	5
4	日本海北部海域における簡易型AIS普及に関する調査研究(秋田県・山形県地区)	6
4-1	第1回委員会	6
I-2	平成30年度事業推進連絡会議	7
I-3	全国海難防止強調運動の推進	8
1	日本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議	8
2	東北地方海難防止強調運動推進連絡会議	10
3	海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議	12

II 会務報告

II-1	平成30年度第1回理事会	14
II-2	平成30年度通常総会	16
II-3	業務日誌抄	18
II-4	業務予定	19

III 寄稿欄

舞鶴の神様たち（山崎神社）	20
---------------------	----

IV 連絡事項

☆ 「簡易型A I S搭載の経費助成」に感謝状	24
-------------------------------	----

☆ 明治元年から150年 全国各地で行事が行われています。	25
-------------------------------------	----

I 事業報告

I-1 調査研究

1 秋田港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査

委員会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」

(委員長)	矢吹 英雄	東京海洋大学 名誉教授
	池田 英治	海上保安大学校 名誉教授
	岡崎 忠胤	東京海洋大学大学院 教授
	久古 弘幸	一般社団法人日本船長協会 副会長
	高橋 福治	秋田船川水先区水先人会 会長
	西宮 公平	秋田海陸運送株式会社 代表取締役社長
	柏屋 敬	日本通運株式会社 秋田港支店 支店長
	西宮 公平	秋田曳船株式会社 代表取締役社長
	大槻健太郎	東北電力株式会社秋田火力発電所 所長
	藤田 博英	秋田県漁業協同組合 代表理事組合長

「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部
秋田海上保安部
東北地方整備局 港湾空港部
東北地方整備局 秋田港湾事務所
秋田地方气象台

1-1 第2回委員会

- (1) 開催日：平成30年5月8日(火)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
 - ① 港湾計画改訂計画案について
 - ② 航行の安全性について
 - ③ 航行安全対策について
 - ④ 報告書構成案について

2 由利本荘市沖洋上風力発電事業に係る航行安全対策調査

委員会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」

(委員長)	矢吹 英雄	東京海洋大学 名誉教授
	高橋 勝	海上保安大学校 名誉教授
	松田 洋和	一般社団法人日本船長協会 副会長
	高橋 福治	秋田船川水先区水先人会 会長
	西宮 公平	秋田海陸運送株式会社 代表取締役社長
	加賀谷 弘	秋田県漁業協同組合 代表理事組合長
	(藤田 博英)	秋田県漁業協同組合 代表理事組合長 人事異動により委員交代)
	根本 兼敏	秋田県漁業協同組合 南部総括支所 支所長
	山田 則隆	株式会社マリーナ秋田 代表取締役専務
	齋藤 修市	秋田県小型船舶安全協会 会長

「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部
秋田海上保安部
東北地方整備局港湾空港部
秋田地方气象台
秋田県産業労働部 資源エネルギー産業課
秋田県建設部 港湾空港課
秋田県農林水産部 水産漁港課
由利本荘市市民生活部 生活環境課

2-1 第1回委員会

- (1) 開催日：平成30年6月18日(月)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
 - ① 洋上風力発電事業計画について
 - ② 調査・検討の計画(案)について
 - ③ 周辺港湾の現況について
 - ④ 周辺の航行環境について
 - ⑤ ウインドファームの航行影響(シミュレーションによる検討方案)について

2-2 視認シミュレーション実験

- (1) 実施日：平成30年6月26日(火)
- (2) 場所：東京都 株式会社MOLマリンシミュレータ室

2-3 第2回委員会

- (1) 開催日：平成30年7月25日(水)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
 - ① 第1回委員会の質疑への対応について
 - ② ウインドファームの航行影響について
 - ③ 対象海域の航行安全について

3 秋田港・能代港洋上風力発電事業に係る航行安全対策

委員会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」

(委員長)	矢吹 英雄	東京海洋大学 名誉教授
	高橋 勝	海上保安大学校 名誉教授
	松田 洋和	一般社団法人日本船長協会 副会長
	高橋 福治	秋田船川水先区水先人会 会長
	西宮 公平	秋田海陸運送株式会社 代表取締役社長
	柏屋 敬	日本通運株式会社秋田港支店 支店長
	與語 奨太	能代運輸株式会社 専務取締役
	大森 弘	株式会社ダイニチ 専務取締役
	大槻健太郎	東北電力株式会社秋田火力発電所 所長
	橋本 英雄	東北電力株式会社能代火力発電所 所長
	加賀谷 弘	秋田県漁業協同組合 代表理事組合長
	工藤 篤	秋田県漁業協同組合 北部総括支所 支所長
	石井 好勝	八峰町峰浜漁業協同組合 代表理事組合長
	大高 光晴	能代市浅内漁業協同組合 代表理事組合長
	田中 保則	三種町八竜漁業協同組合 代表理事組合長
	山田 則隆	株式会社マリーナ秋田 代表取締役専務
	齋藤 修市	秋田県小型船舶安全協会 会長
	佐藤 雅史	秋田北部マリンヤマハクラブ 会長
	佐々木 一	能代シーマンズクラブ 会長
	加藤榮之進	白神マリンクラブ 代表

「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部
秋田海上保安部
東北地方整備局 秋田港湾事務所
秋田地方气象台
秋田県産業労働部 資源エネルギー産業課
秋田県建設部 港湾空港課
秋田県農林水産部 水産漁港課
秋田市産業振興部
能代市環境産業部

3-1 第1回委員会

- (1) 実施日：平成30年7月18日(水)
- (2) 場所：秋田市 ホテルメトロポリタン秋田
- (3) 議題：
 - ① 洋上風力発電事業計画について
 - ② 調査・検討の計画(案)について
 - ③ 港湾の現況について
 - ④ 周辺の航行環境について
 - ⑤ ウインドファームの航行影響(シミュレーションによる検討方案)について

3-2 視認シミュレーション実験

- (1) 実施日：平成30年8月21日(火)
- (2) 場所：東京都 株式会社MOLマリンシミュレータ室

4 日本海北部海域における簡易型AIS普及に関する調査研究(秋田県・山形県地区)

委員会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」

(委員長)	日當 博喜	海上保安大学校 名誉教授
	須藤 秀直	日本小型船舶検査機構 仙台支部長
	石山 俊次	日本小型船舶検査機構 青森支部長
	高橋 福治	秋田船川水先区水先人会 会長
	松浦 安洋	酒田水先区水先人会 会長
	加賀谷 弘	秋田県漁業協同組合 代表理事組合長
	本間 昭志	山形県漁業協同組合 代表理事組合長
	齋藤 修市	秋田県小型船舶安全協会 会長
	齋藤 賢作	特定非営利活動法人 山形県小型船舶安全協会 会長
	山田 則隆	株式会社マリーナ秋田 代表取締役専務
	富塚 郁夫	鼠ヶ関マリーナ ハーバーマスター
	高桑 幸蔵	ビーエルエス東北 代表

「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部
秋田海上保安部
酒田海上保安部
東北総合通信局 無線通信部
東北運輸局 秋田運輸支局
東北運輸局 山形運輸支局
水産庁 新潟漁業調整事務所
秋田地方气象台
山形地方气象台
秋田県 農林水産部水産漁港課
山形県 庄内総合支庁産業経済部水産振興課

4-1 第1回委員会

- (1) 開催日：平成30年7月2日(月)
- (2) 場所：酒田市 ホテルリッチ&ガーデン酒田
- (3) 議題：
 - ① 調査・研究の計画(案)について
 - ② 海難の状況について
 - ③ 気象・海象の状況について

I-2 平成30年度事業推進連絡会議

- (1) 開催日：平成30年5月30日(水)
- (2) 場所：新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟
- (3) 出席者：下表のとおり
- (4) 議題：
 - ① 航行安全及び海難防止に関する調査研究について
 - ② 海難防止に関する周知宣伝について
 - ③ 航行安全に関する情報交換について
 - ④ その他

出席者名簿

(順不同・敬称略)

構成機関・団体	役職等	氏名
第二管区海上保安本部交通部	安全対策課長 航行安全課 航行安全調整官	佐藤 幸人 宮里 宰
第八管区海上保安本部交通部	航行安全課長 安全対策課 安全対策第一係長	谷岡 敦 堀川 剛司
第九管区海上保安本部交通部	航行安全課長 航行安全課 専門官 安全対策課長 安全対策課 安全対策第一係長	安光 良博 嶋田 大輔 青木 雄一 瀬良 啓二
第九管区海上保安本部海洋情報部	監理課長 監理課 専門官	太田 毅徳 松下 優
(公財)海上保安協会新潟地方本部	事務局長	高野 成二
新潟県水難救済会	事務局長	西片富士夫
(公社)日本海海難防止協会	専務理事 総務部長 事業部長 事業部 主任研究員 事業部 調査員	安藤 眞博 木原 弘昭 高野 修 檜ヶ谷正道 花棚 景子

I-3 全国海難防止強調運動の推進

1 日本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議

- (1) 開催日：平成30年6月14日(木)
- (2) 場所：新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟
- (3) 出席者：別記のとおり
- (4) 会議次第：
 - ① 主催者挨拶
第九管区海上保安本部交通部 企画調整官
 - ② 議 事
平成30年度 海の事故ゼロキャンペーン日本海中部地方実施計画
 - ③ 連絡事項
 - イ 第九管区海上保安本部 交通部
第九管区海上保安本部の取り組み
 - ロ 新潟海上保安部 交通課
新潟海上保安部における活動
 - ハ 信越総合通信局 無線通信部
新潟県における船舶共通通信システムと簡易型AISの普及状況
 - ニ 新潟漁業調整事務所
水産庁が行う漁船海難防止のための取り組み
 - ホ 新潟地方气象台
全般海上警報・アジア太平洋地上天気図の改善
 - ヘ その他



別記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

構成機関・団体		役職等	氏名	
官 公 庁 機 関	信越総合通信局 無線通信部	航空海上課長	合志 治彦	
	北陸信越運輸局 海事部	首席運航労務監理官	坂井 秀一	
	北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所	沿岸防災対策室 沿岸防災対策官	松原 正伸	
	新潟地方气象台	気象防災情報調整官	亀井 正久	
	水産庁 新潟漁業調整事務所	漁業監督課長	根本 博美	
	新潟県 防災局	危機対策課 主任	五十嵐康明	
新潟県警察本部 地域部	地域課 災害雑踏係長	新保 秀登		
関 係 団 体	船員災害防止協会 北陸信越支部	事務局長	江口 孝	
	公益社団法人北陸信越海事広報協会	事務局長	大井戸佐紀夫	
	北陸信越旅客船協会		(欠)	
	一般財団法人日本気象協会 新潟支店	支店長	三嶋 宣明	
	日本小型船舶検査機構 新潟支部	支部長	佐藤 忠	
	一般社団法人日本海事検定協会 新潟事業所	所長	糟谷 功一	
	全日本海員組合 新潟支部	支部長	奈良 章	
	新潟県港湾協会	事務局(新潟県港湾整備課 主事)	有坂 葵	
	新潟県水難救済会	事務局長	西片富士夫	
	新潟県漁業協同組合連合会		(欠)	
	新潟内航海運組合	事務局長	早見 和夫	
	新潟水先区水先人会	会長	小坂 徳夫	
	新潟海洋少年団		(欠)	
	PW安全協会 新潟支部		(欠)	
新潟県セーリング連盟		(欠)		
主 催	第九管区海上保安本部	交通部	企画調整官 安全対策課長 航行安全課 専門官 安全対策課 安全対策第一係長 安全対策課 安全対策第二係	三ヶ田忠弘 青木 雄一 嶋田 大輔 瀬良 啓二 関根 康
		警備救難部	救難課 専門官	清水 英司
		新潟海上保安部	交通課長 交通課 安全対策係長	川内谷紀行 石山 稔
	公益財団法人海上保安協会 新潟地方本部	事務局長	高野 成二	
	公益社団法人日本海海難防止協会	専務理事 事業部長 事業部 調査員	安藤 眞博 高野 修 花棚 景子	

(事務局：公益社団法人 日本海海難防止協会)

2 東北地方海難防止強調運動推進連絡会議

(1) 開催日：平成30年6月12日(火)

(2) 場所：塩釜市 塩釜港湾合同庁舎

(3) 出席者：別記のとおり

(4) 会議次第：

① 出席者代表挨拶

第二管区海上保安本部長

② 出席者紹介

③ 議長挨拶

④ 議 事

イ 第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算について

ロ 第2号議案 平成30年度事業計画について

ハ その他



別記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

団体・機関名	代表者	出席者
船員災害防止協会東北支部	支部長 佐藤 良典	欠席
全日本海員組合東北地方支部	地方支部長 高橋 雅幸	地方支部長 高橋 雅幸
東北漁業無線協会	会長 大和田 洋光	欠席
東北港運協会	会長 西宮 公平	欠席
東北内航海運組合	理事長 平岡 清康	事務局長 木村 誠
東北旅客船協会	会長 白幡 昇一	事務局長 武内 伸之
一般社団法人 日本マリン事業協会東北支部	支部長 藤崎 雅実	事務局長 藤崎 雅実
NPO法人 パーソナルウォーターグート安全協会東北地方本部	本部長 中西 宏紀	事務局長 高橋 勇貴
公益社団法人 東北海事広報協会	会長 佐藤 昭夫	会長 佐藤 昭夫
一般財団法人 日本海洋ゾナ安全・振興協会東北事務所	所長 渡邊 章彦	所長 渡邊 章彦
一般財団法人 日本気象協会東北支社	支社長 安倍 俊明	総務課長 折坂 章子
株式会社 日本船舶職員養成協会東北	代表取締役 高橋 雅洋	代表取締役 高橋 雅洋
日本船用機関整備協会東北支部	支部長 荒井 誠治	事務局長 伊藤 隆雄
公益社団法人 日本海海難防止協会	会長 南波 秀憲	欠席
公益財団法人 海上保安協会東北地方本部	本部長 太田 喜一郎	本部長 太田 喜一郎
一般社団法人 日本埋立浚渫協会東北支部	支部長 中村 俊智	事務局長 寒河江 利廣
青森県海難防止強調運動推進連絡会	会長 三津谷 廣明	青森県漁連指導課 主任 櫻田 栄吉
岩手地区海難防止強調運動推進連絡会議	議長 上村 勝利	欠席
宮城地区海難防止強調運動推進連絡会議	議長 松浦 富雄	議長 松浦 富雄
秋田県海難防止強調運動推進連絡会議	議長 山本 健蔵	欠席
山形県海難防止強調運動推進連絡会議	議長 齋藤 賢作	議長 齋藤 賢作
福島県海難防止強調運動推進連絡会議	議長 中村 育世	欠席
東北総合通信局	局長 伊丹 俊八	無線通信部航空海上課長 狩野 成明
東北地方整備局	局長 津田 修一	港湾空港防災・危機管理課長 吉田 久隆
東北運輸局	局長 尾関 良夫	海上安全環境部調整官 後藤 靖
仙台管区气象台	台長 大林 正典	防災調査課長 小野寺 優
運輸安全委員会事務局仙台事務所	所長 當間 寿	事故調査調整官 川崎 清隆
仙台地方海難審判所	所長 阿部 直之	書記官 渡辺 健
第二管区海上保安本部	本部長 佐々木 幸男	交通部長 田中 忍

(事務局：公益財団法人 海上保安協会東北地方本部)

3 海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議

- (1) 開催日：平成30年6月20日(水)
- (2) 場所：舞鶴市 西駅交流センター
- (3) 出席者：別記のとおり
- (4) 会議次第：
 - ① 日本海西部地方推進連絡会議議長 挨拶
 - ② 第八管区海上保安本部長 挨拶
 - ③ 議 事
 - イ 平成29年度日本海西部地方海難防止強調運動の実施結果について
 - ロ 平成29年度各地区活動状況について (順不同・敬称略)
 - ハ 平成29年の海難発生状況について
 - ニ 平成30年度海の事故ゼロキャンペーン実施計画について
 - ホ 平成30年度日本海西部地方海難防止強調運動基本計画(案)及び同実施計画(案)について
 - ④ 連絡事項
 - ⑤ 第八管区海上保安本部交通部長 挨拶



別記

出席者名簿

(順不同・敬称略)

	団体・機関名等	役職等	氏名
構 成 員	公益財団法人 海上保安協会舞鶴地方本部	本部長 事務局長	西川 順之輔 一瀬 光孝
	海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議 福井地区	代表	藤田 紀雄
	” 京都地区	代表	松本 直樹
	” 兵庫北地区		(欠 席)
	” 境地区	代表	岩田 祐二
	” 石見地区	代表	宮下 義重
	北陸総合通信局	航空海上課長	中野 佳胤
	近畿総合通信局	航空海上課長	近藤 斉
	中国陸総合通信局	航空海上課長	松本 義明
	境港漁業調整事務所	次長	濱口 安行
	中部運輸局		(欠 席)
	近畿運輸局	首席運輸労務監理官	角谷 敬二郎
	神戸運輸監理部	海上安全環境部 調整官	田中 広司
	中国運輸局	首席運輸労務監理官	徳永 修
	近畿地方整備局	品質検査官	田中 謙志
	運輸安全委員会事務局神戸事務所	所長	藤岡 善計
	” ” 広島事務所		(欠 席)
	神戸地方海難審判所	書記官	天河 宏
	広島地方海難審判所		(欠 席)
	大阪管区气象台	気候変動・海洋情報調整官	根本 和宏
第八管区海上保安本部	本部長	伊藤 裕康	
公益社団法人 近畿海事広報協会		(欠 席)	
公益社団法人 日本海海難防止協会		(欠 席)	
関 係 職 員	第八管区海上保安本部交通部	交通部長 航行安全課長 ” 海務係 安全対策課長 ” 安全対策調整官 ” 安全対策第二係長 ” 海上安全情報官付	金城 政彦 谷岡 敦 片山 明洋 北見 宗雄 竹内 正一 大井 昭彦 西尾 亮太
	第八管区海上保安本部警備救難部	救難課計画係長	尾崎 英樹
	敦賀海上保安部	次長	岩崎 信之
	舞鶴海上保安部	次長	長澤 幸二
	境海上保安部	次長	佐々木昭栄
	浜田海上保安部	次長	岩谷 久
	香住海上保安署	次長	大谷 昭生

(事務局：公益財団法人 海上保安協会舞鶴地方本部)

Ⅱ 会 務 報 告

Ⅱ－１ 平成 30 年度第 1 回理事会

- 1 開催日 平成 30 年 5 月 14 日(月)
- 2 場 所 ANAクラウンプラザホテル新潟
新潟市中央区万代 5 丁目 11 番 20 号

3 理事の現在数、出席者数

- (1) 理事の現在数 23 名
- (2) 出席者数
出席理事 14 名
監 事 2 名

4 議事次第

決議事項

- 第 1 号議案 平成 29 年度の事業報告及び決算の書類の承認について
- 第 2 号議案 役員候補者の選任について
- 第 3 号議案 顧問の委嘱について

報告事項

業務を執行する理事の職務の執行の状況について

5 議事の経過及びその結果

- (1) 定足数の確認
事務局から定款第 38 条に定める定足数を満たしている旨の報告がなされた。
- (2) 議長及び議事録の署名
定款第 37 条の規定に基づき南波会長が議長となり、議事録の署名は定款第 42 条の規定に基づき、南波会長（代表理事）、高橋監事、水野監事とした。
- (3) 議案の審議状況及び議決結果等
第 1 号議案 平成 29 年度の事業報告及び決算の書類の承認の件
議長の求めに応じ、事務局から平成 29 年度の事業報告及び決算の書類について説明した。
議長は、監事に監査報告を求め、高橋監事より監査報告書のとおり指摘すべき事項はない旨報告があった。

次いで、議長が承認を諮り、審議の結果出席理事全員異議なく平成 29 年度の事業報告及び決算の書類を原案のとおり総会に上程することに決した。

第 2 号議案 役員候補者の選任の件

議長の求めに応じ、事務局から役員候補者の選任について説明した。

次いで、議長が候補者の選任の可否を諮り、審議の結果出席理事全員異議なく原案のとおり決した。

第 3 号議案 顧問の委嘱の件

議長の求めに応じ、事務局から顧問の委嘱について説明した。

次いで、議長が顧問の委嘱の可否を諮り、審議の結果出席理事全員異議なく原案のとおり委嘱することに決した。

報告事項

業務を執行する理事の職務の執行の状況について事務局から報告した。

Ⅱ－２ 平成 30 年度通常総会

1 開催日 平成 30 年 6 月 4 日(月)

2 場所 ANAクラウンプラザホテル新潟
新潟市中央区万代 5 丁目 11 番 20 号

3 正会員総数及び定足数

総数 215 名、定足数 108 名

4 出席者数及び出席役員等

(1) 出席正会員 57 名(うち代理出席者 25 名)

(2) 書面表決(賛成)正会員 135 名

(3) 来賓

第九管区海上保安本部長 工藤 健太郎 様

北陸信越運輸局長(代理：海事部長) 伊藤 義久 様

5 挨拶等

南波会長の挨拶に続いて、来賓の第九管区海上保安本部長と北陸信越運輸局海事部長から祝辞があった。

6 議案

決議事項

第 1 号議案 平成 29 年度の事業報告及び決算の書類の承認について

第 2 号議案 役員を選任について

報告事項

平成 30 年度の事業計画書及び収支予算書等について

7 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認

事務局から定款第 18 条に定める定足数を満たしている旨の報告がされた。

(2) 議長及び議事録の署名

定款第 16 条の規定に基づき南波会長が議長となり、議事録には、議長及び五十嵐理事、小坂理事が署名又は記名押印することとした。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

第1号議案 平成29年度の事業報告及び決算の書類の承認の件

議長の求めに応じ、事務局から平成29年度の事業報告及び決算の書類について説明した。

議長は、監事に監査報告を求めたところ、高橋監事から監査報告書に記載したとおり適正である旨報告があった。

次いで、議長はその賛否を議場に諮ったところ、満場一致で異議なく承認された。

第2号議案 役員を選任の件

議長は、当法人の理事 渡邊 哲、監事 高橋 皓 の2名が人事異動等により本總會終了後辞任することから、その補欠として「役員候補者名簿」のとおり役員を選任することの賛否を議場に諮ったところ、満場一致で異議なく以下の者を選任することに決した。

理事 相 場 齊 株式会社本間組 土木事業本部部長

監事 小 畑 修 富士運輸株式会社 専務取締役

報告事項

議長から平成30年度事業計画及び収支予算等については、平成30年3月2日に開催した第3回理事会において承認された旨を告げ、資料に基づき平成30年度事業計画及び収支予算等を事務局から報告した。

Ⅱ－３ 業務日誌抄

月 日	内 容	
5月 8日(火)	秋田港港湾計画改訂に係る航行安全対策調査 第2回委員会	(秋田市)
5月14日(月)	平成30年度 第1回理事会	(新潟市)
5月30日(水)	平成30年度 事業推進連絡会議	(新潟市)
6月 1日(金)	電波の日式典 信越総合通信局長表彰	(長野市)
6月 4日(月)	平成30年度 通常総会	(新潟市)
6月12日(火)	平成30年度 東北地方海難防止強調運動推進連絡会議	(塩釜市)
6月14日(木)	平成30年度 日本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議	(新潟市)
6月18日(月)	由利本荘市沖洋上風力発電事業に係る航行安全対策調査 第1回委員会	(秋田市)
6月20日(水)	平成30年度 海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議	(舞鶴市)
6月26日(火)	由利本荘市沖洋上風力発電事業に係る航行安全対策調査 視認シミュレーション	(東京都)
7月 2日(月)	日本海北部海域における簡易型AIS普及に関する調査研究 (秋田県・山形県地区) 第1回委員会	(酒田市)
7月 6日(金)	平成30年度 防災気象連絡会	(新潟市)
7月14日(土)	海フェスタにいがた※ 開会式	(新潟市)
7月18日(水)	秋田港・能代港洋上風力発電事業に係る航行安全対策 第1回委員会	(秋田市)
7月19日(木)	海フェスタにいがた※ 記念式典・記念祝賀会	(新潟市)
7月25日(水)	由利本荘市沖洋上風力発電事業に係る航行安全対策調査 第2回委員会	(秋田市)
7月29日(日)	海フェスタにいがた※ 閉会式	(新潟市)
8月21日(火)	秋田港・能代港洋上風力発電事業に係る航行安全対策 視認シミュレーション	(東京都)

※「海フェスタにいがた」：海の恵みに感謝し、広く海に親しむことを通じて、海洋国家日本の繁栄を願うことを目的に、毎年、全国の港湾都市で行われる日本最大級の「海の祭典」で、今回は新潟市、佐渡市、聖籠町の各会場、港で、合わせて50以上の楽しい主催・連携イベントが行われました。

Ⅱ－４ 業務予定

- | | | |
|-----|----------------------------------|--------------------|
| (1) | 由利本荘市沖洋上風力発電事業に係る航行安全対策調査 第3回委員会 | 平成30年10月2日 |
| (2) | 平成30年度 全国海難防止団体等連絡調整会議 | 平成30年11月8日
～ 9日 |
| (3) | 秋田港・能代港洋上風力発電事業に係る航行安全対策 第2回委員会 | 平成30年11月27日 |
| (4) | 会報第125号発行 | 平成31年1月下旬 |

Ⅲ 寄稿欄

舞鶴の神様たち（山崎神社）

元舞鶴事務所長 山本勝眞

国道27号線は、福井県敦賀市から、京都府船井郡丹波町までを結ぶ幹線道路（旧一級国道）で舞鶴市内では東から入り南側に抜けています。

私達舞鶴市民は、京阪神を中心に考えますから、南側から東側に抜けるという感覚が強いのですが、実は反対なんです。

それはさておき、27号線上で舞鶴市の出口は、真倉地区まぐらですが、この一つ手前（北側）が十倉地区とくらになっています。

この地区は、舞鶴市となる前は、「田辺」（現在の舞鶴西地区になります。）と言われていました。

この二つの地区の氏神さん、山崎神社やまざきというのが今回ご紹介する神社です。実際真倉地区と十倉地区が接する国道沿いに別名山崎という地名（国道にも山崎橋というのがあります）から、近代になって、通称山崎神社と言われるようになったとのことですが、古くは「砧倉神社」という名前だったとの話もあります。



本地図は「地理院地図(GSI Maps)」から編集。



山崎神社鳥居

さてこの山崎神社ですが、国道のすぐ東側の脇に鎮座しておられ、国道からほんの数歩入ったところに石造りの鳥居があります。鳥居には掲額がかかっている、何やら文字（たぶん神社名）が彫刻してあるようですが、木目と重なって残念ながら判読できませんでした。

参道（といっても意外と短いです。）を進んでいくと、石灯籠、狛犬がそれぞれ両側にあり、そしてお宮に至っています。

お宮の境内北側には、一棟の境内社があり、「九社明神社」、「まさかつしゃ當勝社」、「大川社」と三神が祀ってあります。



お宮は、ご本殿（おおいや神殿）を覆屋で保護した形の舞鶴によくあるパターン^のの構造となっていますが、こちらの覆屋は、神殿の保護が目的というよりも、神殿と一体化した^{うわや}上屋といってもよい建物で、正面から見ると神殿と見まがうほど立派な建物になっていて、正面の彫刻も素晴らしいです。



ちぎ千木は小さく、かつおぎ勝男木も細いのですが、ちゃんと神社の造りを備えています。

千木は外そぎ（先端が上方に向かって尖っている形）であることや、勝男木が3本と奇数であることなど、ご祭神は男神様か？

そして鳥居は「みょうじんがた明神型」（笠木の両端が上方に反っています。）、上屋の構造は「妻入り」（屋根が三角に見える側に入があります。）であることなどは、出雲系の神様のようにも思われます。

神殿を覗いてみますと、木造の「流れ造り」ではないかと思われましたが、残念ながらよくわかりませんでした。

その神殿には「いちのみやだいみょうじん一宮大明神」と表記された掲額があります。



「一宮大明神」と称するからには、何らかの神社群を代表するイメージがあると思うのですが、境内社の中に「九社明神社」というのがありますので、おそらくこの付近に九つ、あるいはそれ以上



上の明神社があり、田辺地区への入口である真倉・十倉のこの神社が、一宮大明神と呼ばれるようになった・・・？ということではないでしょうか。

そういったことを著した文献も散見されます。

神社の前の国道に「一宮神社前」という道路標示もあります。

さて、肝心の山崎神社の御祭神は、^{あまてらすおおかみあらみたま}「天照大神荒御魂」です。

この神様は、現在伊勢神宮内宮の祭神と同一神ですが、「荒御魂」は、神様の荒々しい側面、荒ぶる魂とされています。神様は、「和御魂」と荒御魂との両面性を持っておられ、天照大神も、^{にぎみたま}素戔鳴尊との誓約の際に、^{みこと}髪を角髪（^{うけい}髪を耳のあたりで束ねた男性の髪型）^{みずら}）に結いなおし武装して対峙した。つまりこれが荒御魂の面の顕現です。また崇神天皇の御代、大物主神のお怒りにより干ばつ・疫病が襲った話なども、大物主神の荒御魂の現れでしょう。

余談ですが、仏教におけるお仏様にも荒ぶる面があって、右手に剣、左手に綱索（畏のような縄）をもって怒髪天を抜く憤怒の形相で衆人を救うといわれる不動明王も、慈悲ある仏の一面だそうですね。

天照大神は、日本国の天皇家の祖神で、国民の総氏神とされる太陽神ですが、^{おおひるめむちの}ご本名を大日靈女貴尊、^{みこと}諡号を「^{おくりな}撞賢木巖御魂天疎向津毘売尊」^{つきさかきいつのみたまあまさかるむかつひめのみこと}称されます。

つまり、山崎神社は、格調高い神社ということになります。

ちなみに、境内社の「當勝社」の御祭神は、^{あめのおしほみのみこと}天忍穗耳尊、^{まさかあかつかはやひあめのおしほみ}諡号を「正哉吾勝勝速日天之忍穗耳尊」と申され、大日靈女貴尊の御長男で、五男三女のなかでは活躍が地味な方ですが、立派な諡号があることからしても、長男として母神様や弟妹神様をしっかりと支えておられたのではないのでしょうか。

日向の北の方面を治めておられたようです。

大川社は保食の神様で由良川沿いの大川地区にある大きな神社で、舞鶴市内の多くの神社に境内社として祀られています。

ところで、先に、神社上屋の構造からは、出雲系男神様の気配が感じられると申し上げましたが、御祭神が「天香護山尊」(「天香山尊」あるいは「高倉下尊」)ではないかという説もあるようです。

この神様は、出雲系「饒速日尊」(にぎはやひのみこと)と「三炊屋姫」(みかじきひめ)御二男にあたられますので、神社外見上からは符号することになります。

神社の御祭神は、時代により変わりますが、建物建て替えの際でも、構造はなかなか変えられないのではないかというのが筆者の持論です。

山崎神社の境内の北寄りには「まいづる茶屋」というレストランがあります。

お店の人に聞いたら、「十倉地区の氏子さんから敷地の一部を借り受けて店をやっている。」とのことでした。

※ 本稿の神社名「砧倉」については、真倉地区在の嵯峨根一正氏から呼び名を教えてくださいました。



※お知らせ

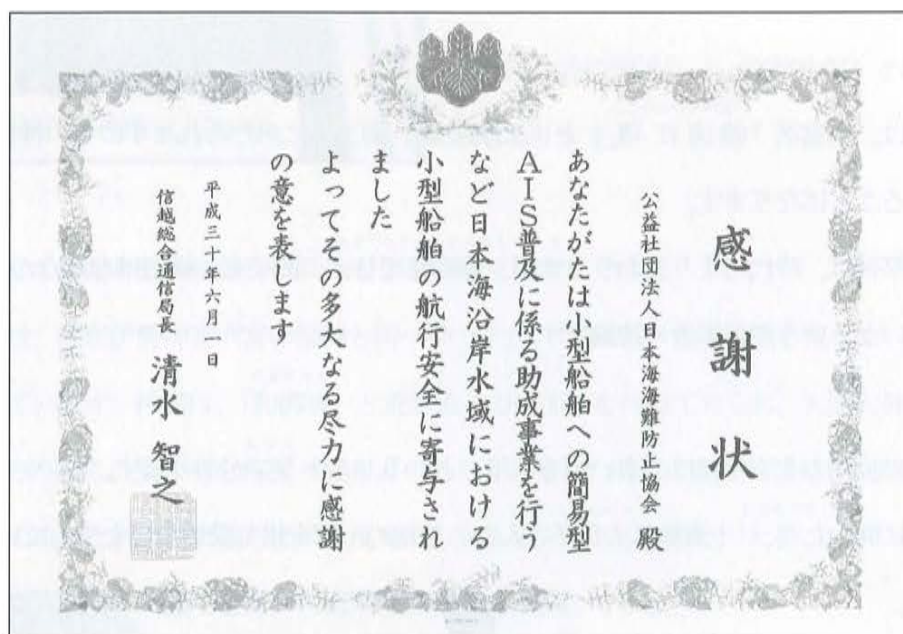
本会報に寄稿された「舞鶴市の神様たち」の始め(会報第91号)から前号までを取りまとめた冊子を当協会のホームページに掲載しました。

<http://nikkaikb.com/publics/index/13/>

IV 連絡事項

☆ 「簡易型AIS搭載の経費助成」に感謝状

小型船舶の海難の減少に資するためとして平成27～29年度に行った「簡易型AIS搭載の経費助成」に関し、信越総合通信局長から感謝状を受けました。



平成30年6月1日「電波の日」に平成30年度電波の日・情報通信月間記念式典（信越総合通信局、信越電波協会との共催）が長野市で開催され、電波利用や情報通信分野の普及・発展等に貢献のあった6団体3個人の表彰、3団体に感謝状の贈呈がありました。

式典には、信越地域の経済界や自治体、放送・電気通信関係事業者などから約170人が出席されました。



式典



受賞された方々

写真は、INFO・NET 信越 Vol.258（平成30年6月5日発行）より引用

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/shinetsu/sbt/infonet/infonet258.html#News1>

☆ 明治元年から 150 年 全国各地で行事が行われています。

新潟港は、安政の五カ国条約により開港5港の一つに指定され1869年1月1日（明治元年11月19日）に、佐渡夷港（現在の両津港）を補助港として開港し、来年、2019年1月1日に開港150周年を迎えます。

この記念すべき機会を、地域が一体となって取組みを推進していく「新潟開港150周年記念事業」が行われ、そのキックオフイベントとして7月14日～29日、“学んで、遊んで、食べて。海がもっと好きになる！”をキャッチフレーズに「海フェスタにいがた」が新潟市、佐渡市、聖籠町で盛大に行われたところです。

この明治150年に関し、全国各地でも記念式典やイベントなどが計画される情報が内閣府ホームページに掲載されていたので紹介します。

「明治の歩みをつなぐ、つたえる 明治150年」

（内閣官房「明治150年」関連施策推進室）

ホームページの画面、アドレス等



<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/meiji150/portal/index.html>

「一に点検 二に整備 三に油断のない船出」

「守ろう ルール なくそう 海難」

会 報 第 1 2 4 号

平成 30 年 9 月 発行

発 行 所 新潟市中央区竜が島 1 丁目 9 番 2 号
公益社団法人 日本海海難防止協会
〒 9 5 0 - 0 0 7 2

電 話 (025) 247-8531

F A X (025) 247-0316

E-mail nikkaikb@poem.ocn.ne.jp

URL <http://nikkaikb.com/>

印 刷 所 株式会社 ウィザップ

